

広瀬川が日の光に照らされ鮮やかに輝き、生命の躍動も感じられる季節となった今日、私たち31名は卒業の日を迎えました。新型コロナウイルスへの不安が大きい中、式を挙げてくださったことに感謝いたします。そして、このような中ご臨場いただいた保護者の皆様、教職員の皆様に卒業生一同を代表し、感謝申し上げます。

思い起こせば3年前、期待や不安に胸を高鳴らせ私たちはここ尚絅学院中学校へ入学しました。楽しみ、というよりも緊張が勝る中、初めて教室のドアを開けたあの日。そこには、これから始まる3年間への希望と、まだ見ぬ未来への不安が広がっていました。クラスの第一印象は、とても真面目。この先みんなとうまくやれるのか、友達はできるのか、とても不安な心境でした。

しかし日が経つにつれ、このような悩みは消え去りました。そのきっかけとなったのが、入学してわずか1ヶ月で行われたサイエンスキャンプ。2泊3日の中で、自然と科学について考え、学び、共存について考えさせられるプログラムでした。そして、みんなの事も少しずつ知ることができました。初めて見る一面もあり、仲を深める大きなきっかけとなりました。1年生の頃は、楽しかったことも沢山あった反面、辛いことや友人関係での衝突も多かったように感じます。まだ稚拙な考えや行動が原因で喧嘩をしたり、傷つけ合うことが多くありました。当時の担任だった綾子先生は、その度にクラスで話し合いの機会を作ってくださいました。何度か話し合いを重ねる頃には、みんながどこか晴れやかな表情へ変わっていました。

2年生の職場体験では、社会の厳しさと働くことの重要さを痛感させられました。自分の無力さで落胆していた時、支えてくれたのは仲間の存在でした。「みんなも頑張っている」と思うと気持ちが軽くなり、自然と元気になりました。2年生の頃の私たちは1年前よりもより深くお互い知り、クラスもだんだん1つになってきました。3年生になり、最上級生となった私たち。2年間のことを踏まえ、全力で取り組み団結できた陸上記録会。リレーの準備が1番大変でしたね。クラスでたくさん話し合い、泣いて、それでも最後は最高の結果でみんな笑顔で終わることができました。

そして、3年間の集大成モンタナ研修は今でも鮮明に思い出せます。私が心から「楽しかった！」と思えるのは、3Aのみんなが居たからです。英語が分からない時は必ず誰かが教えてくれる。困った事があったら必ずみんなが助けてくれる。3Aのみんなは、とても優しい人たちです。M マウンテンの頂上から見た景色、飛行機やバスの中でした移動中の会話、寮の中庭でみんなで遊んだこと、ルームメイトとの楽しい時間…どんな些細なことでも、みんなと一緒にならすごく楽しかった。この2週間は苦しいこともありました。でもそれ以上に楽しいこと、嬉しかったことが沢山ありました。自分自身も、みんなも、そしてクラス全体も成長できたモンタナ研修は一生の宝物です。

3年前私たちが初めて会った時、自分たちのクラスがこんなに楽しくてお互いがかけがえのない存在となることなど、想像できたでしょうか。1人が話し出すと止まらなくて、いつの

間にかクラスみんなで笑い合ってる。行事があるたびに喧嘩して、話し合いをするのがいつもの流れ。チームワーク賞は3年間で1度も獲れなかったけど、この3Aは間違いなく最高のクラスです。1番の仲間たちです。私にとって、3Aのみんな一人ひとりが、かけがえない存在です。

在校生のみなさん。部活動や行事がある度に「先輩」と言って慕ってくれて、支えてくれて、ありがとうございました。もしかしたら今、学校生活や友人関係で悩んでいる人がいるかもしれません。そんな時は、クラスみんなで話し合っ、自分が仲間に対して出来ることをよく考えてみてください。中学校3年間はあっという間に過ぎていきます。みなさんが後悔のないように過ごせることを願っています。

時に優しく時に厳しく、いつも私たちを正しい道へ導いてくださった先生方、本当にありがとうございました。行事の時は私たちと一緒にしゃいで楽しみ、授業の時は分かりやすく情熱的に教えてくださいました。特に、折笠先生と卓也先生。3年生になり、進路に迷い悩んでいた時親身になって支えてくださいました。いつも私たちのことを考えてくれ、私たちと一緒に笑い、喜び、寄り添い続けてくれた先生方。先生方がいてくださったから私たち3Aはより強く、悔いのない最後の1年を過ごすことができたのだと思います。

そして、どんな時も私たちの味方でいてくれた、家族。3年間、毎朝早くに起きてお弁当を作ってくれ、夜遅くまで勉強をしていると、自分も疲れているはずなのに、いつも私の体の心配をしてくれました。3年間の中で沢山迷惑をかけて、心無い言葉で傷つけてしまったことがあったかもしれません。照れくさく素直になれず、普段はなかなか言えない感謝の気持ちを伝えます。美味しいお弁当を作ってくれてありがとう。1番に支えてくれてありがとう。

今日から私たちはそれぞれの異なる道へ進みます。辛いことや苦しいこと、大きな壁に直面した時は、この唯一無二の素晴らしい仲間たちと出会えたこと、尚綱学院中学校での学びとここで過ごした3年間の誇りに、強く前向きに進んでいきます。これから先、皆の歩む道が笑顔で溢れますように。

最後になりましたが、尚綱学院中学校の益々の発展を祈念し、卒業生の言葉とさせていただきます。

2020年3月13日 卒業生代表 A.M